第7回厚生文教常任委員会会議記録 令和7年8月26日(火曜) 午前9時30分 開会 休 憩 9:58-59 10:06-08 10:10-14 10:14-25 10:36-37 10:39-40 開閉会 10:40-45 10:50-50 10:51-52 10:53-55 10:55-11:05 11:05-15 日 時 午前 11 時 23 分 閉会 休憩時間: 0時間48分 会議時間:1時間5分 会議場所 3階委員会室 委員長 中田智惠子 委 員 中村 和宏 出席委員 副委員長 立川 美穂 委 員 渡辺洋一郎 氏 名 委員 西尾 一則 委員 橋本 和仁 委員 委員 常通 直人 小笠原 等 |議 長 梶澤 幸治 公立芽室病院事務長 石田 哲 社会教育係主査 大橋 毅 梅森 祐之 スポーツ振興係長 事務長補佐 杉本 康次 総務係長 佐藤 季之 佐藤 文彦 都市経営課長 説明員 医事係長 佐々木弥恵子 | 課長補佐 佐藤 史彦 生涯学習課長 江崎 健一 社会教育係長 藤村 学 参考人 欠席委員 氏 名 事務局職員 事務局長 安田 敦史 総務係長 竹川 恭史

『会議に付した事件と会議結果など』

1 開 会

委員長が開会を告げ、事務局から本日の委員会の日程を説明する。

2 議 件

(1)調査事項

ア 公立芽室病院の経営状況(令和7年度第1四半期)について

資料1

- 事務長:資料を総務係長及び医事係長から説明する旨を告げる。
- · 総務係長:資料説明(第1四半期決算状況)
- 医事係長:資料説明(診療科別前年対比、月別入院状況、月別外来状況)
- 委員長:質疑はないか?
- ・立川委員:その他医業収益で訪問看護が前年度より 200 万円の増との説明があったが、今後の見通しは?
- ・医事係長:令和7年度は令和6年度と比較すると、現在のところ上昇傾向にある。
- ・立川委員:この状態を維持するために今後強化していきたい部分や課題は?
- ・医事係長:町民への周知や入院との連携により利用者を増やす工夫が必要。現状は今

- の人員での体制なので、業務の効率化を図るが、移動距離等の課題があり、対策を模索中である。
- ・橋本委員:前年度比入院・外来収益減の分析は?
- ・総務係長:入院・外来とも予算額を下回っている状況であるが、今後の状況を見なが ら検討する。
- ・渡辺委員:4月から6月にかけて病床稼働率が上がっている要因は?
- ・事務長: さまざまな要因があるが、例えばであるができるだけ救急患者を受け入れる 取組が入院に繋がっている。
- ・渡辺委員:経営強化プランにおける令和7年度当初予算の病床稼働率は94.1%となっており、今現在はそこまで至っていない状況だが、これからそこに向けての対策は?
- ・事務長:1つの施策をとれば数値が極端に上がるものではなく、今の取組を継続する。目標として掲げているが現実的には難しい数値と認識している。
- ・ 渡辺委員:公立芽室病院の病床稼働率の損益分岐点は出しているのか?
- 事務長:損益分岐点が94.1%である。
- ・渡辺委員:目標に掲げているが、達成するのは難しい状況という理解で良いか?
- ・事務長:入院だけで病院収益を上げている訳ではなく、入院、外来、訪問看護、訪問 リハビリ等さまざまな分野で収益を上げ、支出をいかに抑えるかが肝要であり、 94.1%にいかなくても赤字になるとは限らない。
- ・立川委員:病床稼働率の病床別内訳は?
- ・事務長補佐:4階病棟は基本的に90~95%未満の数値で、稼働を上げるなら2階の 一般病床となり、現在医師、看護師等さまざまな医療職含め努力をしている。
- ・中村委員:手術の件数は減少傾向なのか、増加傾向なのか?
- 事務長:減少傾向にある。
- ・西尾委員:現時点での令和7年度決算状況の見通しは?
- 事務長:第1四半期の状況では発表できる段階にはない。
- ・中村委員:材料費は物価高騰の影響によるものなのか?
- ・総務係長:お見込みのとおり。
- ・橋本委員:入院の食事材料費が上がっているということだが、食事代への価格転嫁は?
- ・医事係長:診療報酬で食事代が決まっており、定額になっているが、今年国の緊急措置で少し上がっていて、その中で納められるよう工夫している状況。
- ・総務係長:患者以外への給食費を100円値上げしている。
- ・西尾委員:訪問介護、訪問看護で約200万円収益が増えたとの説明があったが、人件費やガソリン等の経費は行けば行くほど増えるのではないか?
- ・事務長:訪問看護と訪問リハビリで収益増。訪問看護は人員が変わっていないので、ガソリン代の問題はあるが、経費としてはあまり変わっていない。訪問リハビリは人件費が増えており、現在収益に直結するようさまざまな検討研究をしており、訪問の効率化やDXの導入も含め検討している。
- 委員長:他にないか?

- ・(意見・質疑なし)
- ・委員長:以上で調査事項「ア」を終了する。
- イ 令和6年度指定管理者評価結果(中央公民館・社会体育施設等)について

資料 2-1、2-2

- ・生涯学習課長:事業概要説明。「資料2-1 (芽室町中央公民館)」の説明(「評価方法」「評価の考え方」「評価委員」「委員会開催経過」「評価結果」等)。「資料2-2 (社会体育施設等)」の説明(「評価方法」「評価の考え方」「評価委員」「委員会開催経過」「評価結果」等)。
- ・委員長:「資料2-1 (芽室町中央公民館)」の評価結果について、意見・質疑はないか?
- ・立川委員:過去に男子トイレのおむつ替えスペースや子育て支援の面からのニーズ があったと思うが、今回の評価での意見は?
- ・生涯学習課長:汚物入は設置済み。授乳施設は引き続き検討する。
- ・立川委員: 託児付の講座はどの程度あったのか?
- ・生涯学習課長:正確な数値は把握していない。
- ・立川委員:託児は事業者の意向に任せているのか?
- ・生涯学習課長:お見込みのとおり。今回の資料にはないが、毎月の行事の中で託児実績のあったものについては報告を受けている。
- ・立川委員:事業者の意向に任せるのではなく、町から事業者に求めるような考えはないのか?
- ・生涯学習課長:趣旨に沿って講座を受けやすくするよう継続していく。
- ・渡辺委員:毎月報告を受けているにもかかわらず、把握していないとのことだが関連 性はあるのか?
- ・生涯学習課長:定例会議の中で把握しており、大人の講座で3回、子どもの講座で1 回託児を行っているが、人数は把握していない。
- ・渡辺委員:定例会議では実施状況等を確認することになっているが、どの程度まで確認するのか?
- 社会教育係主査:企画の段階で指定管理者から実施前、実施後に報告を受けている。
- ・ 渡辺委員:町からの要望事項は定例会議の中で伝えるのか?
- ・社会教育係主査:お見込みのとおり。
- ・中村委員:十勝管内の講演等のチケットを売って好評だったとのことだが、連携しているホールは限定されるのか?
- ・社会教育係主査:主催者側と指定管理者との協議に基づき、申出を反映した形になっている。
- ・常通委員:比較表の18頁の緊急時の対応の参加人数は誰が参加したのか?
- 社会教育係主査:当日施設を利用されている方に声をかけて参加した人数。
- ・常通委員:そこにいた一般住民の方に協力をいただいて訓練したという理解でよいか?
- ・社会教育係主査:お見込みのとおり。

- ・委員長:他にないか?
- ・(意見・質疑なし)
- ・委員長:以上で、「資料2-1 (芽室町中央公民館)」の評価結果の調査を終了する。
- ・委員長:次に「資料2-2」について、質疑はないか?
- ・立川委員: 昨年度の託児付講座の実績は?
- ・生涯学習課長:実績はなかった。
- ・立川委員: 昨年度の託児付講座の開催がゼロなのか、設定したけど利用がなかったのか?
- ・スポーツ振興係長:昨年度は託児付講座は設定していない。
- ・西尾委員:評価点B3.22 と昨年度より評価が下がっているが、どのように捉えているのか?
- ・都市経営課長:6人平均の評価であり、全員3点以上つけているので適当であると評価されたと判断している。
- ・西尾委員:15 頁の収入の部で、人件費、管理運営費、水道光熱費、委託経費、施設維持、保守管理費を足したものが指定管理料の合計という意味でよいのか?
- ・スポーツ振興係長:収入の部の指定管理料計が町から指定管理料として支払われている金額。
- ・西尾委員:指定管理料計と利用料収入を足すと合計になるが、上の人件費等の科目を 足しても指定管理料計にならないが。
- ・スポーツ振興係長:収入の部は予算額と実績値が混在しており、資料に誤りがあるので整理し、再度改めて説明させていただく。
- ・西尾委員:18 頁温水プールの消耗費は町内業者ゼロになっているが、町の見解は?
- ・都市経営課長補佐:項目として町内の雇用は事業計画で求めているが、消耗品や物品 の購入は事業計画で求めていなく、評価の対象ではない。
- 委員長:他にないか?
- ・(なし)
- ・委員長:以上で、「資料2-2 (社会体育施設等)」の評価結果の調査を終了し、調査 事項「イ」の調査を終了する。
- ・委員長:自由討議を行う。最初に調査事項「ア」について、自由討議はないか?
- ・立川委員:収益改善の質疑が多くあり、第1四半期の決算状況を踏まえ、先進地事務 調査の取りまとめに生かせていければよい。
- ・委員長:今後の委員会の取りまとめに生かす。
- ・委員長:調査事項「ア」の自由討議を終了する。
- ・委員長:次に調査事項「イ」について、自由討議はないか?
- ・立川委員:今後、新たな事業者選定が今年度入ってくると思うので、その際の論点として、町の考えを明らかにしていけたらよい。
- ・委員長:今後の調査の参考とする。
- ・委員長:調査事項「イ」の自由討議を終了する。

- 3 その他
- (1) 次回委員会の開催日程について 正副一任
- (2) その他

・委員長:各委員からないか?

・(なし)

・委員長:議長からないか?

・(なし)

・委員長:事務局からないか?

・(なし)

以上をもって、厚生文教常任委員会を終了する。

 傍 聴 者 数
 一般者
 0名
 報道関係者
 2名
 議員
 1名
 合計
 3名

令和7年8月26日

厚生文教常任委員会委員長 中田 智惠子